

令和2(2020)年度
厚木市当初予算



市民の輪をもって笑顔が咲き誇るまちを築く

あつぎの
元気大輪
予算2020

当初予算の概要

予算総額 (過去2番目)

1,496億486万7千円 (2.1%・30億円 増)

一般会計 (過去3番目) 投資的経費 90.7億円

859億円 (0.5%・4億円 減)

+

2019年度国の補正予算等の前倒し分

11.5億円

実質

- **870億円**を超える過去最大予算規模
- 投資的経費も**100億円超**

特別会計 公共下水道事業の企業会計への移行による減・国民健康保険事業の減

410億716万2千円 (13.6%・65億円 減)

公共下水道
事業移行

公営企業会計 2020年度～
公共下水道事業が公営企業会計スタート

226億9,770万5千円 (77.2%・99億円増)



徹底した行財政改革＋投資・貯蓄

“今日的課題解決と次世代への先行投資を実現するための財政運営”

約**15**億円

人件費の削減
経常経費の見直し
公債費の削減

行財政改革
効果額**38**億円

削減

確保

約**23**億円

国・県補助金の確保
広告掲載事業の拡大
収納対策の強化

(56年連続普通交付税不交付団体)

自主・自立の財政運営

投資

貯蓄

未来のまちづくりへ
財源確保に向けた
先行投資など、
地方債を効果的に活用

約**67**億円

投資的経費を拡大しても地方債は最小限に圧縮

将来を見通した財政運営

今後の財政需要など
に対し**計画的に活用**

標準財政規模比**25.8%**

約**131**億円



6つの重点プロジェクト

将来都市像の実現に向けた12年間の最終年度
第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」の総仕上げ

(将来を見据えた重点プロジェクト)

- ① 人口の将来展望を実現する
地方創生
- ② 誰もがいきいきと生活できる
地域包括ケア社会
- ③ 将来にわたって活力あるまちであり続けるための
都市基盤整備
- ④ **防災・減災対策**
の強化による安心・安全
優先
- ⑤ 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出

(市民ニーズによる重点プロジェクト)

SDGsの推進

⑥ **中心市街地** の魅力や
利便性の向上

様々な計画の
策定・改定

新たな総合計画への確実な橋渡し

あつぎの元気大輪予算 2020

重点プロジェクト別の 主要事業



厚木市では、主要事業のほかにも様々な事業においてSDG s の達成に向けた取組を進めております。

人口の将来展望を実現する 地方創生の推進

SDGs



1

拡充 第1子目も対象としてパワーアップ！

子育て日常生活支援事業 約7,500万円

子育て世帯に対し、日常生活用品(紙おむつ、おしりふき等)を支給。さらに、第1子目を新たに対象として拡大し子育て環境を充実。

(第3子目以上)
2歳になるまで

(第2子目)
12か月

+ NEW

(第1子目)
12か月



2

NEW 幼児教育・保育に携わる人材確保を推進！

幼稚園教諭応援・サポート事業 280万円

● 幼稚園教諭奨学金返済助成金

奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得し、市内の私立幼稚園に勤務する方に対し、返済金額の一部を助成。

上限20万円/年
最長3年
(最大60万円)

● 幼稚園教諭転入奨励助成金

市内の私立幼稚園に就職・勤務している幼稚園教諭に対して、市内への転入費用の一部を助成。

一律5万円+
転入経費
(上限5万円)

● 幼稚園教諭復職等奨励助成金

幼稚園教諭の資格をお持ちで、新たに市内の私立幼稚園に就業する方に対し、必要な費用の一部を助成。

一律10万円



～ この事業は、久保子どもの未来応援基金を活用しています ～

人口の将来展望を実現する 地方創生の推進

SDGs



3

NEW 事業承継とM&Aを実施する中小企業を支援！

事業承継支援事業補助金 100万円

経営資源を持ちながら、後継者問題等の課題を抱える市内中小企業の事業を継続させ、技術や顧客、雇用の喪失を防ぐため、事業承継に掛かる費用の一部を補助。

補助対象経費の
1/2以内
(上限 50万円)



4

拡充 幼保無償化に伴う保育需要の増大に市単独で対応！

幼稚園・認定こども園受入体制充実事業 約9,000万円

● 幼児教育支援事業補助金

幼稚園における特別支援教育、預かり保育、外国人児童受入などの推進に要する経費の一部を補助。

● 認定こども園新制度補助金

保育を必要とする子どもの受入枠の拡大や環境整備など、保護者のニーズに合ったサービス提供を目指し、新たに経費の一部を補助。



5

NEW 普通教室に続き、特別教室への設置に向けた調査をスタート！

小・中学校特別教室冷暖房設備設置事業

2,000万円

安心・安全で快適な教育環境の確保を図るとともに、災害時の指定避難所としての防災機能強化を図るため、特別教室への冷暖房設備設置に向けた導入調査及び検討を実施。

誰もがいきいきと生活できる

SDGs



地域包括ケア社会の実現

1

NEW 高齢者の継続雇用と企業の人材不足を解消！

 **県内初**

高齢者継続雇用奨励補助金 約1,000万円

高齢者が継続して就労できる機会を提供し、社会参加を促すとともに、企業の人材確保及び技術の継承を促進するため、雇用奨励金を交付。

対象 66歳以上の高齢者を1年以上継続して常用雇用している
市内中小企業（3人を限度）

支給額 （市内在住）1人 **3万円**／年
（市外在住）1人 **1万円**／年



2

NEW 振り込め詐欺被害ゼロを目指します！

振り込め詐欺等防止装置購入費補助金 240万円

振り込め詐欺、悪徳セールス、架空請求、アポイント電話等の被害に遭わないようにするため、録音機能付き電話機又は後付けの装置の購入費用の一部を補助。

対象 70歳以上の方が属する世帯

支給額 購入費の2/3（上限**6,000円**／台）を補助

補助期間 令和2年度～4年度（3か年）



誰もがいきいきと生活できる

SDGs



地域包括ケア社会の実現

3

拡充 厚木市権利擁護支援センターの充実を図ります！

高齢者の尊厳保持支援事業 約1,300万円

権利擁護支援センターを拡充し、市民後見人養成のための研修の実施や、成年後見制度に関する相談受付、高齢者、障がい者の虐待に関する相談、通報の受理等を実施するほか、被成年後見人や成年後見人等を地域で支え合う地域連携ネットワークを構築。



4

拡充 ハイリスク者へ喀痰(かくたん)細胞診を追加！

がん検診事業 約5億円

がんの予防や早期発見のため、各種がん検診を実施するとともに、拡大事業として、肺がんの施設検診において、胸部エックス線検査に、ハイリスク者へ喀痰からがん細胞の有無を調べる喀痰細胞診を併用して実施。



ハイリスク者 50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）
600以上の方



将来にわたって活力あるまちであり続けるための 都市基盤整備の推進



1

■ 拡充 ■ 酒井地区の土地区画整理事業が本格的にスタート！

酒井土地区画整理関連事業 約6.4億円

- 早期の産業用地創出及び企業誘致に向け、酒井土地区画整理組合に対して支援を実施。
- 施行地区周辺の都市基盤整備の準備を実施。

2024年度整備完了（予定）

2

B工区が6月整備完了（予定）進出企業も1社決定！

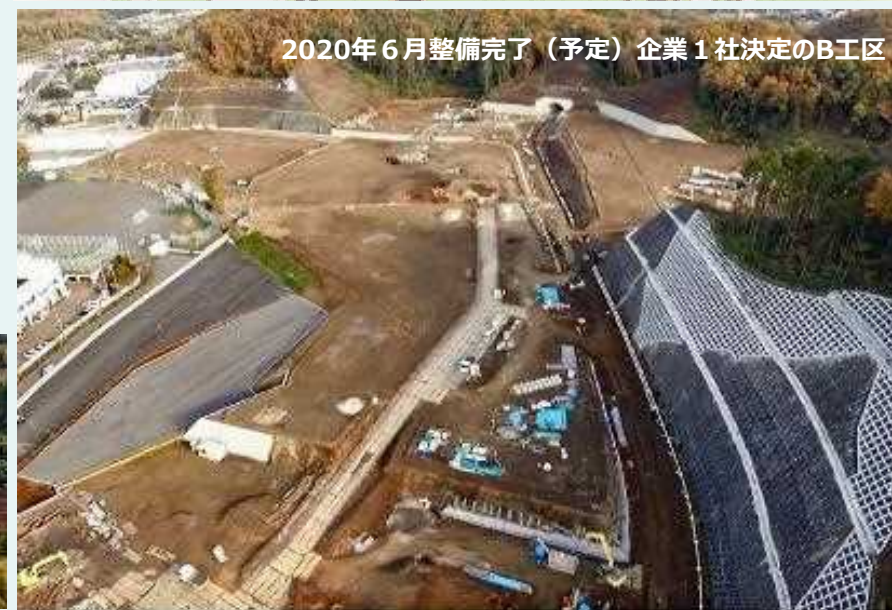
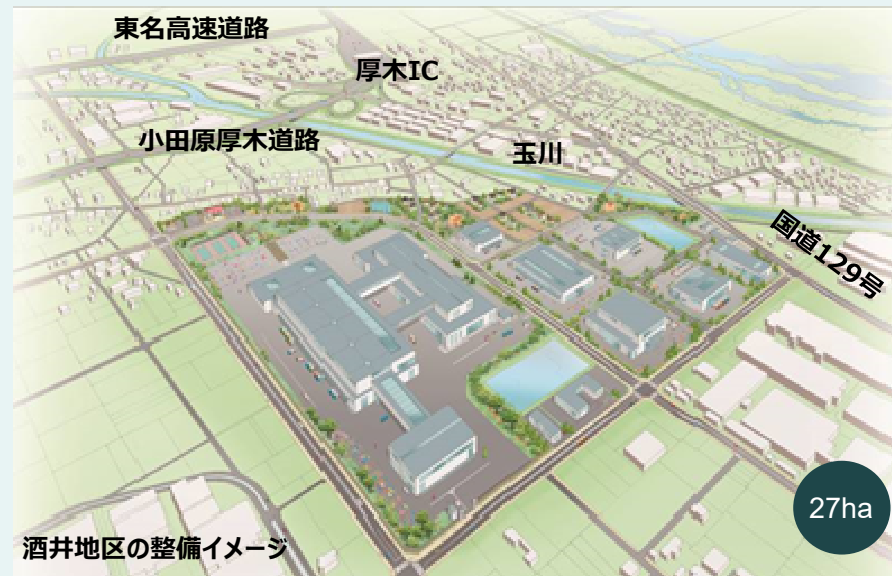
森の里東土地区画整理関連事業 約2.3億円

- 早期の産業用地創出及び企業誘致に向け、森の里東土地区画整理組合に対して支援を実施。
- 施行地区周辺の都市基盤の整備を実施。

A工区 企業2社が操業中

B工区 2020年6月整備完了（予定）企業1社決定

C工区 2023年度整備完了・企業立地（予定）





将来にわたって活力あるまちであり続けるための 都市基盤整備の推進

3

【拡充】 環状3号線は、いよいよトンネル工事に着工！ 約24億円 街路整備関連事業（環状3号線・本厚木下津古久線）

安全で快適な市民生活を確保し、体系的な交通ネットワークを構築するため、次の都市計画道路の整備を促進。

● 厚木環状3号線

県道63号（相模原・大磯）宮地交差点から市道籙谷上古沢線までの1,700m区間の供用開始に向け、引続き用地買収を進めるとともに、周辺関連道路の測量、設計委託及び整備工事を実施。

● 本厚木下津古久線

国道271号から県道22号（横浜・伊勢原）までの1,700m区間の供用開始に向け、測量、設計委託及び街路整備工事を実施。

総仕上げ

厚木PAスマートインターチェンジ
2020年度上半期開通（予定）
（2019年度繰越明許予算）



環状3号線の現場写真



環状3号線トンネルのイメージ



4

【公共用地取得事業特別会計】 約10億円

厚木秦野道路用地取得事業（用地国債）

厚木秦野道路（国道246号バイパス）の早期整備促進に向けて、国の用地国債先行取得制度を活用し、事業用地を先行取得。

県内初
の実施
（3年目）

（H30）
約10億

+

（R元）
約10億

+

（R2）
約10億

早期整備の
実現に向け

3年間で
約30億円
の投資

防災・減災対策の強化

による安心・安全の推進

1

NEW 避難所1～2日分の電力供給が可能！

電気自動車電力供給システム整備事業 約1,600万円



公民館等の指定緊急避難場所において、停電時に備えて非常用電源を確保するため、電気自動車からの電力供給を受けるための体制を整備。

整備箇所 公民館16か所、保育所4か所



電気自動車からの電力供給イメージ

2

NEW 市民生活の復旧・復興を支援するシステムの構築！

被災者支援システム整備事業 約2,400万円

大規模災害時における市民生活の復旧を支援するため、被害認定調査や被災証明書の発行などを迅速に行う被災者支援システムを構築。

3

NEW

地区別防災マップ[💡] 県内初 オールハザードマップ^{🗺️}作成事業 約2,200万円

全戸
配布



近年頻発している災害に対応できる地区別防災マップや震度分布図、液状化分布図や最新の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映したオールハザードマップを作成して全戸配布。

オールハザードマップのイメージ→



防災・減災対策の強化

による安心・安全の推進

4

拡充 [公共下水道事業会計] 全体事業費 29.8億円

厚木排水区浸水対策北貯留管整備事業 9億円

局地的集中豪雨等に対して、本厚木駅周辺の厚木排水区における浸水被害を軽減するため、厚木北地区（厚木中央公園西側交差点付近から大型バス発着場北側付近まで）に雨水貯留管を整備。

2022年度整備完了（予定） L=1,130m Φ2400mm

5

拡充 消防・防災機能の機能強化！

消防庁舎整備関連事業（南毛利・相川分署）約2.5億円

各種災害に迅速・的確に対応するため、消防・防災拠点である南毛利分署及び相川分署を移転整備。

2021年度整備完了（予定）

6

NEW 市内全域に救命ボートの追加配備！

消防団救命ボート整備事業 約900万円



近年大型化する台風や局地的な集中豪雨などによる被害から市民の命と暮らしを守るため、洪水浸水対策の一環として、各署所に配備済みの9艇に加え、消防団へ救命ボート（各地域1艇、計8艇）を追加配備。



(2020年度)
シールドマシン製作

シールドマシンのイメージ

相川分署の新築イメージ



東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出

1

拡充 将来のあつぎにつなげるレガシーの創出

オリンピック・パラリンピック支援推進事業 約7,800万円

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの受入や、本大会の観戦の機会を市民に提供。また、レガシー創出のため、ニュージーランドとのホストタウン事業を実施。

**事前キャンプ
受入競技**

NZバスケットボール、NZゴルフ、NZサッカー、NZ車いすラグビー

4,989
枚

2

NEW 心に残る感動体験を提供！

オリンピック・パラリンピック体験支援事業 約1,000万円

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の学校連携チケットを活用し、児童・生徒が観戦できる機会を設け、心に残る感動体験を提供。

**学校連携
チケット**

オリンピック（野球、ソフトボール、サッカー）
パラリンピック（陸上競技）

3

NEW

オリンピック聖火リレー記念施設整備事業 500万円

東京オリンピックの聖火リレーを記念し、リレーコースとなる市道内に後世に残る記念パネルなどを設置。

4

英語教育推進事業 約4,700万円

英語の習得・活用に意欲を持つ児童・生徒を育成するAKG（あつぎキッズガイド）プロジェクトなどを実施し、英語によるコミュニケーション能力を育む教育を推進。



車いすラグビーの様子



市民ニーズによる重点プロジェクト

中心市街地の魅力や利便性の向上

本厚木駅南口イメージ

1

NEW

拡充

本厚木駅南口の5つの関連事業がすべて完了！

本厚木駅南口関連事業 約8.2億円

総仕上げ



●本厚木駅南口地区において、交通結節点の機能強化を図るとともに、魅力ある駅周辺の顔づくりを目指し、駅前広場の拡充整備や地下2階地上22階建てとなる再開発ビルを整備し、地下1階には新たに市営自転車駐輪場（612台）を整備。

●駅前広場にはデジタルサイネージを6基設置し、市からのお知らせなどの情報を積極的に発信するほか、気軽にインターネットに接続できるWi-Fi環境を整備。

2020年度整備完了（予定）

再開発ビル
整備

地下2階
地上22階

駅前広場
整備

4,260㎡に
拡充整備

自転車
駐輪場

再開発ビル
地下に612台

デジタル
サイネージ

駅前広場に
6基設置

Wi-Fi
環境整備

南口で気軽
にネット接続



市民ニーズによる重点プロジェクト

中心市街地の魅力や利便性の向上

2

2025年度の完成を目指し、複合施設と周辺交通アクセス整備の推進！

中町第2-2地区周辺整備関連事業 約1.1億円

中心市街地の新たな中核拠点となる図書館、（仮称）未来館、市庁舎等で構成する複合施設の設計に向けた準備を推進。また、周辺交通アクセス整備を推進し、A-358号線歩道整備、都市計画道路中町北停車場線の整備計画の検討を実施。



中町第2-2地区周辺地域

3

NEW 本厚木駅北口周辺地区と駅北口広場の都市機能更新に向けて！

本厚木駅北口周辺整備関連事業 約1,600万円



本厚木駅北口周辺地区及び駅北口広場の都市機能更新に向けた取組を推進。また、市街地再開発準備組合が実施する組合設立促進事業に要する経費の一部を補助。

4

拡充 愛甲石田駅北口広場の拡張を基本とした整備構想の検討！

愛甲石田駅周辺整備関連事業 7,900万円

愛甲石田駅北口広場の拡張を基本とした整備構想の検討を実施。また、既已取得した用地を活用し、愛甲石田駅北口広場の一般車と公共交通の錯そうを改善するため、暫定整備を実施。



愛甲石田駅の様子



あつぎ元気プランの着実な推進

1

NEW RPAなどの新技術を導入

RPA等導入事業 700万円

ソフトウェア上のロボットにより業務工程を自動化するRPAなどの新技術を導入し、更なる業務の効率化や生産性向上を図り、より質の高い行政サービスを提供。

- RPA等導入業務**
- 市民税特別徴収事務（市民税課）
 - 住民票等証明発行事務（市民課）



窓口サービスの様子

2

拡充 持続可能な循環型社会の実現を目指して
約11.1億円

ごみ減量化・資源化推進事業

持続可能な循環型社会を目指し、学校給食から排出される食品廃棄物の減量化・資源化モデル事業を実施するとともに、製品プラスチックの資源化モデル地区事業や、紙おむつの資源化に向けた調査を実施。



主な拡充事業

- 学校給食から排出される食品廃棄物の減量化・資源化モデル事業
- 製品プラスチックの資源化モデル地区事業
- 紙おむつの資源化に向けた調査



製品プラスチック資源回収のイメージ



あつぎ元気プランの着実な推進

3

NEW 「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して

SDGs推進事業 300万円

SDGsの普及促進と地域活性化のため、スマートフォンアプリを導入し、SDGsにつながる市民活動等に対して、各種特典等のサービスに利用できるポイントを付与する「SDGsつながりポイント」事業を実施。



つながりポイントのイメージ

4

交通事故や刑法犯認知件数が大きく減少 ★★★★★3回目の認証取得へ！

セーフコミュニティ推進事業 約1,600万円

2008年からセーフコミュニティの考え方や手法を用いた事故やけがの予防政策の取組を市民協働で実施し、誰もが健康で安心・安全に暮らせるまちづくりを推進。



5

NEW 災害や緊急時、スマホなどを意識した機能強化

ホームページリニューアル事業 約4,800万円

長期運用に伴う課題や利用者のニーズを踏まえ、スマートフォンなどのモバイル端末機での利用を意識した画面構成や、災害時などに速やかに情報発信を行うための機能強化など、利用しやすく分かりやすいホームページを目指し、全面リニューアルを実施。



現在の市ホームページ

2020年度の 目玉事業

ハード事業

基盤整備と防災・減災対策

1

拡充
酒井土地区画整理関連事業

約6.4億円

2024年度整備完了（予定）



2

NEW **拡充**
本厚木駅南口関連事業

総仕上げ

約8.2億円

2020年度整備完了（予定）



3

公共下水道事業 **拡充**
厚木排水区浸水対策北貯留管整備事業

9億円

2022年度整備完了（予定）



ソフト事業

防災・減災対策と2020年オリ・パラを契機としたレガシーの創出

4

NEW
電気自動車電力供給システム整備事業

約1,600万円



5

拡充
オリンピック・パラリンピック支援推進事業

約7,800万円



(森の里東・酒井土地区画整理事業、南口再開発事業)

税収シミュレーション

(固定資産税)
(都市計画税)

(総事業費) 367.6億円 (うち市投資額) 85億円 (20年間の税収予測) **144**億円

R13年度に投資額85億円を回収見込み



あつぎの
元気大輪
予算 2020